

タカギ 混合栓施工説明書

takagi

タッチレス 蛇口一体型浄水器 LC

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した「安全上のご注意」は状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、取扱説明書をお客様で保管いただくように依頼してください。
- 給排水工事および電気工事は専門業者でお願いいたします。

安全上のご注意

製品を安全に正しくお使いいただく前に

施工前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく設置してください。

絵表示について 製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定されている内容を示しています。

注意 この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定されている内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

記号は、してはいけない [禁止] 内容を示しています。

記号は、してはいけない [分解・改造禁止] を示しています。

記号は、触れてはいけない [接触禁止] を示しています。

記号は、必ず実行していただく [強制] 内容を示しています。

記号は、必ず実行していただく [強制] 内容を示しています。

警告

- ・本品は屋内設置用です。屋外では使用しないでください。
- ・修理技術者以外の人は、水栓内部を分解しないでください。
- ・必ず製品に付属の部品を使用して施工してください。
- ・この説明書に記載された項目以外は分解・改造しないでください。

やけどをするおそれがあります

湯水を逆に配管しないでください。

他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯を使用中に湯温が急上昇することがあります。

給湯に蒸気を使用しないでください。

湯側の配管には手を触れないでください。

あつい!

あつい!

あつい!

やけどや家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります

水抜き栓は水抜き（寒冷地仕様のみ）およびストレーナのお掃除以外の目的で開けないでください。また、水抜きおよびストレーナのお掃除をする場合は、事前に止水栓が閉まっていることを確認してください。

電磁弁ユニット

あつい!

水抜き栓

発火や感電、けが、水漏れで家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります

分解は説明書に記載された項目以外はしないでください。発火や感電、けが、故障や水漏れの原因になります。

警告

発火や感電、ショート、故障の原因になります

電源プラグ(ACアダプタ)や、制御ボックス、電磁弁ユニットを水につけたり、水をかけたりしないでください。

水がかかる場所や、表面に水滴が生じるような湿気の多い場所で使用しないでください。

センサースイッチへ直接水をかけないでください。

制御ボックスを床に置かないでください。壁に正しく取り付けてください。

付属の電源(ACアダプタ)以外は使用しないでください。また、付属の電源(ACアダプタ)を他の製品に使用しないでください。

他の製品

感電の原因になります

電源プラグ(ACアダプタ)にぬれた手で触れないでください。

制御ボックスにぬれた手で触れないでください。

雷が発生しているときは、電源プラグ(ACアダプタ)に触らないでください。

ACアダプタ

発火や感電、ショートの原因になります

ケーブル類を傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだり、巻き付けたりしないでください。

電源プラグ(ACアダプタ)のケーブルが傷んだり、コンセントへの差し込みがゆるいときは使用しないでください。

交流100V(50/60Hz)以外では使用しないでください。

100V以外

電源プラグ(ACアダプタ)をコンセントに差し込むときは、根元まで十分に差し込んでください。

電源プラグ(ACアダプタ)を抜くときは、ケーブルを持たずに必ず本体を持って引き抜いてください。

水栓の故障や発煙、異臭、その他異常が発生した場合はただちにコンセントから電源プラグ(ACアダプタ)を抜いて、タカギ・コミュニケーションセンターまでお問い合わせください。

根元まで十分に差し込む!

発火や感電の原因になります

導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)などで端子部をショートさせないでください。

発火の原因になります

タコ足配線はしないでください。

注意

誤作動・故障などによる水漏れで家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります

直射日光が当たる場所で使用しないでください。

センサースイッチを傷つけないでください。

長期間使用しない場合は、レバーハンドルを閉じて電源プラグ(ACアダプタ)をコンセントから抜いてください。

給湯温度は60℃以下で使用してください。60℃を超える高温で使用すると、製品の破損や変形により、機能を損なうおそれがあります。

60℃以下

誤作動による水漏れで家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります

センサースイッチの前に障害物がないようにしてください。

インバータや赤外線を用いた他の機器は、水栓から遠ざけてください。

水漏れで家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります

製品を落としたり、強い力や衝撃を与えないでください。

高水圧地区では減圧弁を設置してください。

減圧弁

※設置条件参照

新設の場合、水栓を取り付ける前に、給水側・給湯側配管内のゴミなどを完全に洗い流してください。

止水栓

止水栓にネジ式カプラ（または排水機能付ネジ式カプラ）を取り付けた際、接続部などから水漏れがないことを確認してください。

ネジ式カプラ

水栓および各接続部は浮きや緩みがないように、しっかりと固定してください。

しっかりと固定!

定期的止水栓取り付け箇所や給水管、給湯管との接続箇所の点検がされていないと、吐水量調節や万一の漏水発生時に発見が遅れるおそれがあります。各接続箇所の確認が行えない場合は、確認しやすい位置に点検ができる窓(点検口)を設置してください。

銅管を曲げる際は、銅管が水栓部末端で折れ曲がらないよう指を添えるなどしてゆるやかに曲げてください。

水栓部末端

施工完了後は、レバーハンドルを閉じて水栓および各接続部から水漏れがないことを確認してください。(給水側、給湯側に水圧がかかった状態で確認してください)

冬期に施工完了し、お客様にお引き渡すまでの間、凍結による破損が予想されますので、水抜きなどの予防処置を行ってください。(水栓に水抜き構造のあるものは水を抜いておいてください)

外観寸法図

※仕様によってスパウト回転角度が変わります。

左 右

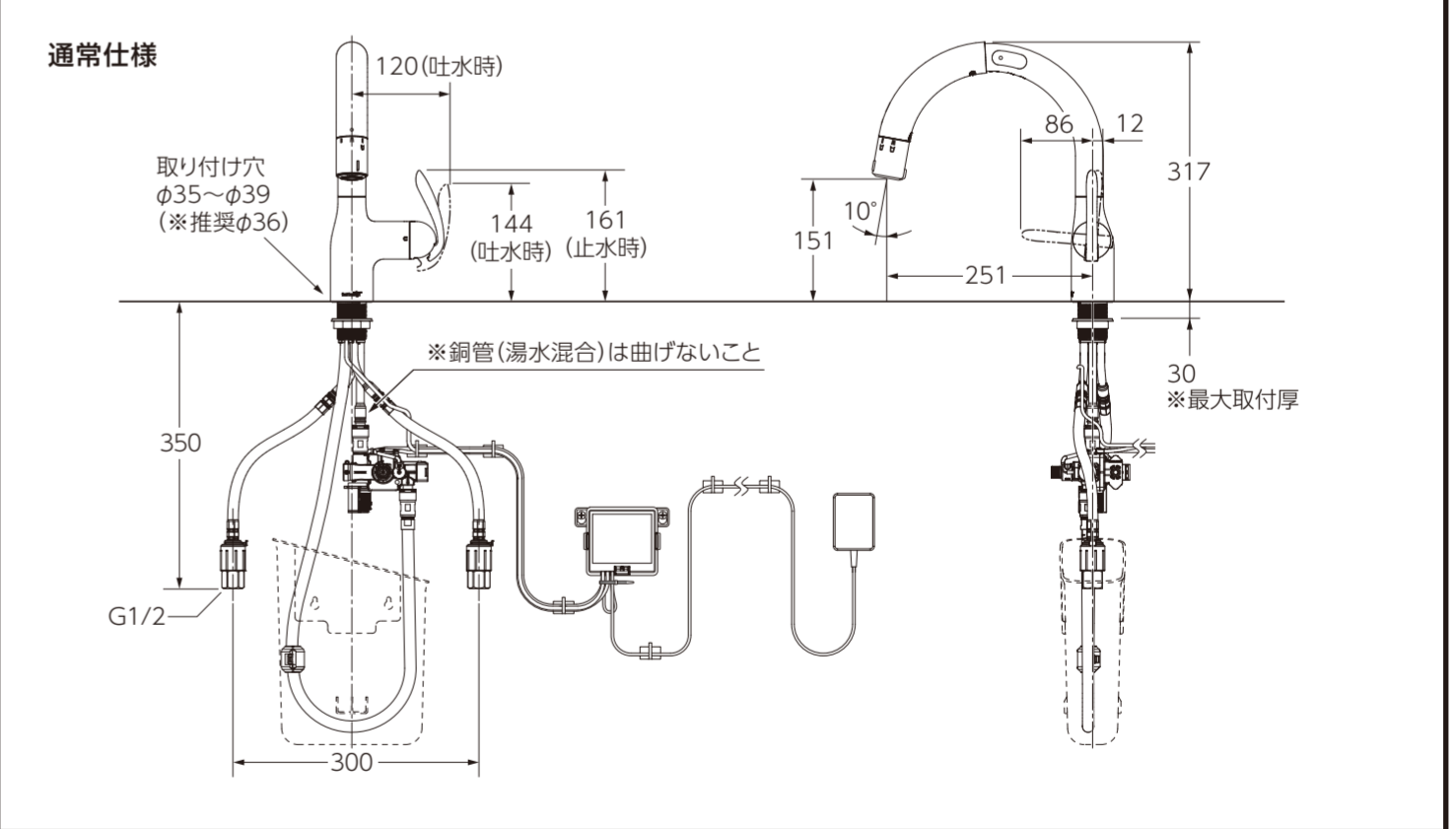
右側設置 左75°・右10°

左側設置 左10°・右75°

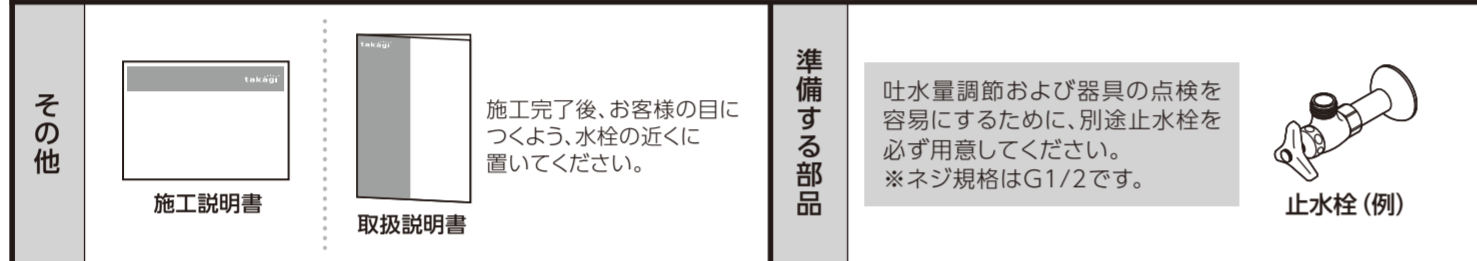
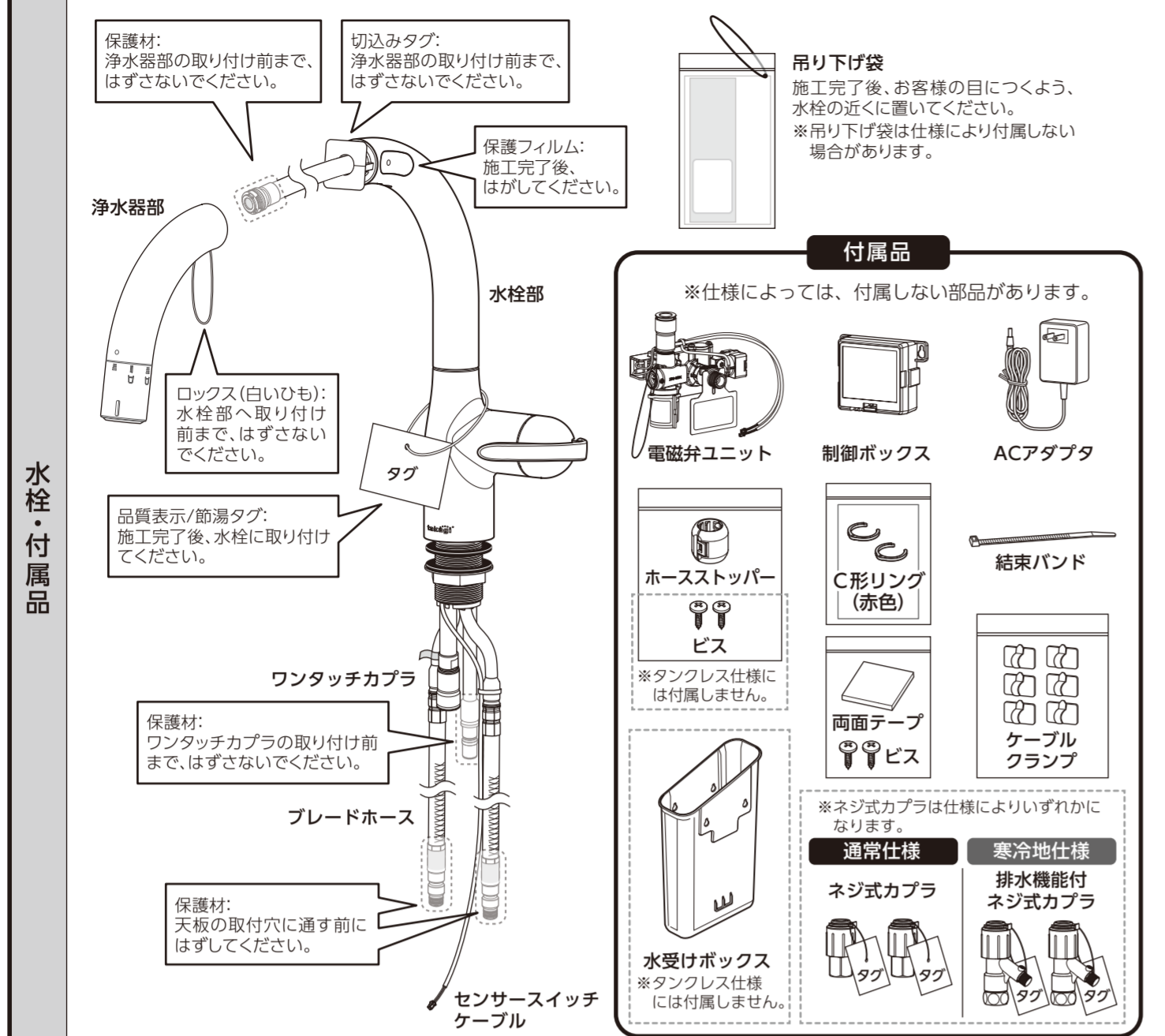
シンク

※品番によって右側・左側設置があります。取り付けの際は注意してください。

※コンセントは電源ケーブルの届く範囲で、床面より高く水のかからない位置に設置してください。



部品の確認



設置条件

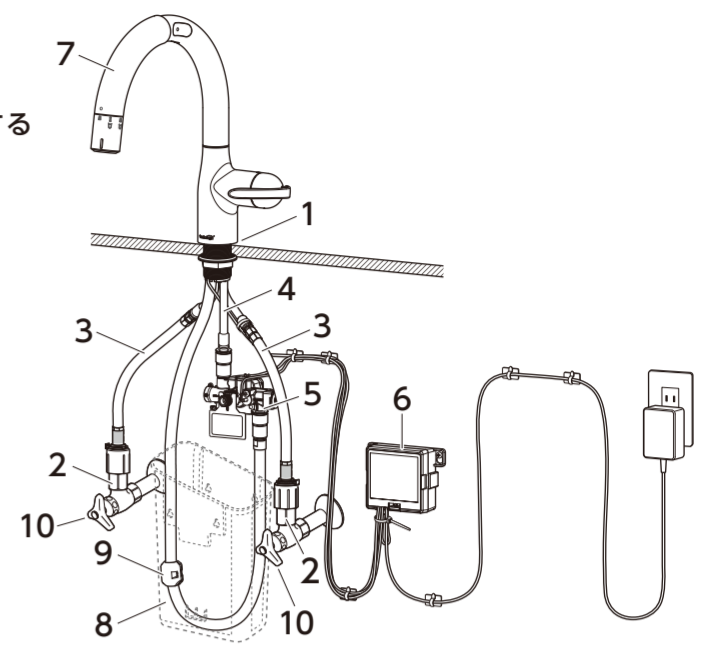
- 給水・給湯圧力範囲は動水圧0.05MPa～静水圧0.75MPaです。この圧力範囲内で使用してください。推奨圧力は静水圧0.2MPa～0.3MPaです。給水圧力が静水圧0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で静水圧0.2MPa程度の適正圧力に減圧してください。ただし、給湯圧力は給水圧より高くないように設定してください。
- 給水・給湯配管は最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- ※ 給水圧力と給湯圧力は圧力差が少ない程、温度調節が容易になります。
- ※ 水道水の飲用基準に合格した水をお使いください。温泉水など異物を多く含む水には使用できません。

施工時のご注意

- 電気工事について
 - ・ 万一の危険防止のため、電源の一次側に1か所漏電遮断器を設置してください。
 - ・ 電気工事は必ず電気工事店に依頼してください。
 - ・ コンセントは電源プラグ (ACアダプタ) の定期的なお手入れが行える位置に設置してください。
- センサースイッチについて
 - ・ センサースイッチを傷つけないように注意してください。
 - ・ インバーターや赤外線を用いた他の機器により誤作動する場合があります。
 - ・ 誤作動防止のため、直射日光が当たらない場所に設置してください。

1. 施工手順

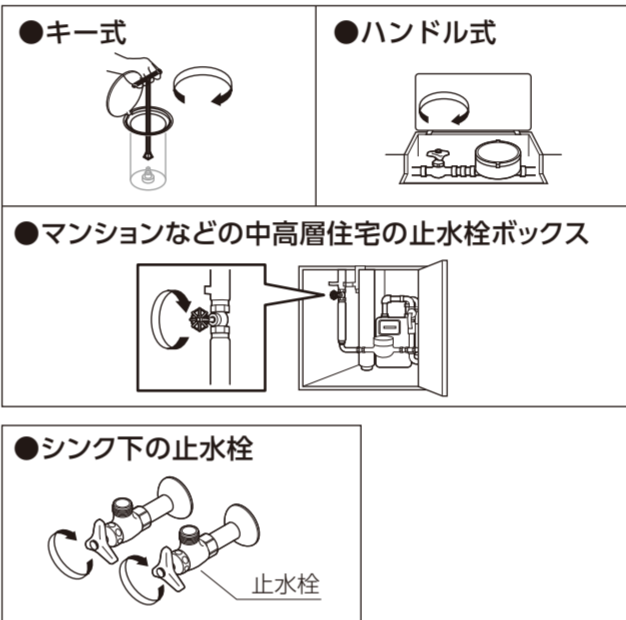
1. 水栓部を天板に固定する
2. 止水栓にネジ式カブラを取り付ける
3. 銅管を曲げてネジ式カブラとブレードホースを接合する
4. 電磁弁ユニットを取り付ける前に給水管内のゴミなどを洗い流す
5. 電磁弁ユニットを取り付ける
6. 制御ボックスを接続・設置する
7. 浄水器部を取り付ける
8. 水受けボックスを設置する場合 ※タンクレス仕様には付属しません。
9. ホースストッパーを取り付ける
10. 水道配管の止水栓を開ける



2. 施工方法

1. 水栓部を天板に固定する

1-① 水道配管の止水栓を閉め水抜きを行う
配管部の止水栓などにより通水を止めて、水抜きを行います。

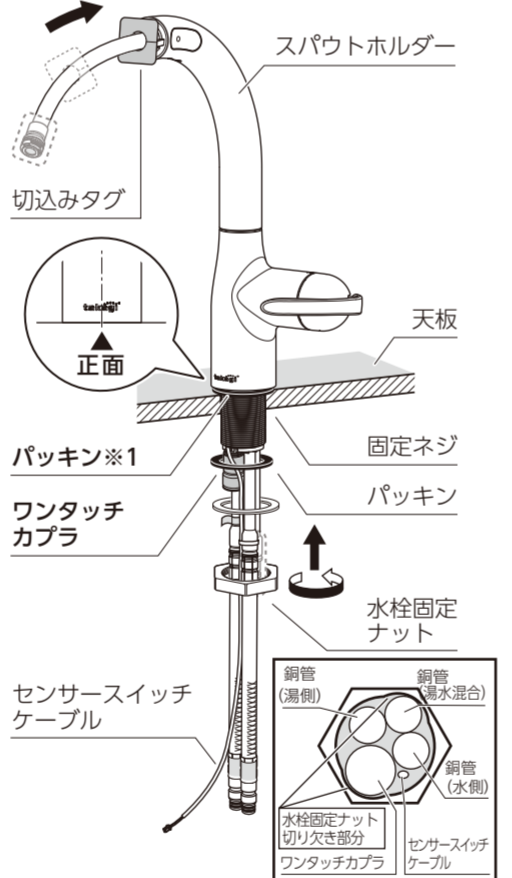


1-② 水栓固定ナット、ワッシャー、パッキンを取りはらず

ワンタッチカブラを右図の位置 (固定ネジの下) にして、水栓固定ナット、ワッシャー、パッキン1枚を固定ネジからはずします。(もう1枚のパッキンは残しておきます)
ブレードホース先端の保護材も取りはずします。(その他の保護材は、はずさないでください)
※ワンタッチカブラが右図の位置にないと水栓固定ナット、ワッシャー、パッキンが取りはずせません。
※切込みタグはフレキシブルホースから取りはずさないでください。(ワンタッチカブラの位置を固定するために必要です)
※センサースイッチケーブルを傷つけないよう注意して部品を取りはずしてください。
※センサースイッチケーブルを誤って引っ張るなどして、断線させないように注意してください。

1-③ 水栓部の取り付け

水栓部の下面にパッキン1枚 (※1) が付いていることを確認し、ワンタッチカブラを右図の位置 (固定ネジの下) にした状態で、天板の取付穴に水栓部を差し込みます。
パッキン、ワッシャー、水栓固定ナットの順に水栓部を通し、水栓固定ナットを矢印の方向に締め込み、固定ネジに仮止めします。
水栓部下の「takagi」ロゴが正面を向くように合わせたあと、水栓固定ナットを十分に締め込み、スパウトホルダーが左右に動くことを確認してください。
(微調整の際は、水栓固定ナットを少し緩め調整してください。調整後は混合栓用締付工具で増し締めしてください)
※ワンタッチカブラが右図の位置にないと水栓固定ナット、ワッシャー、パッキンが取り付けられません。
※切込みタグはフレキシブルホースから取りはずさないでください。(ワンタッチカブラの位置を固定するために必要です)
※センサースイッチケーブルを傷つけないよう注意して部品を取り付けてください。
※センサースイッチケーブルを誤って引っ張るなどして、断線させないように注意してください。

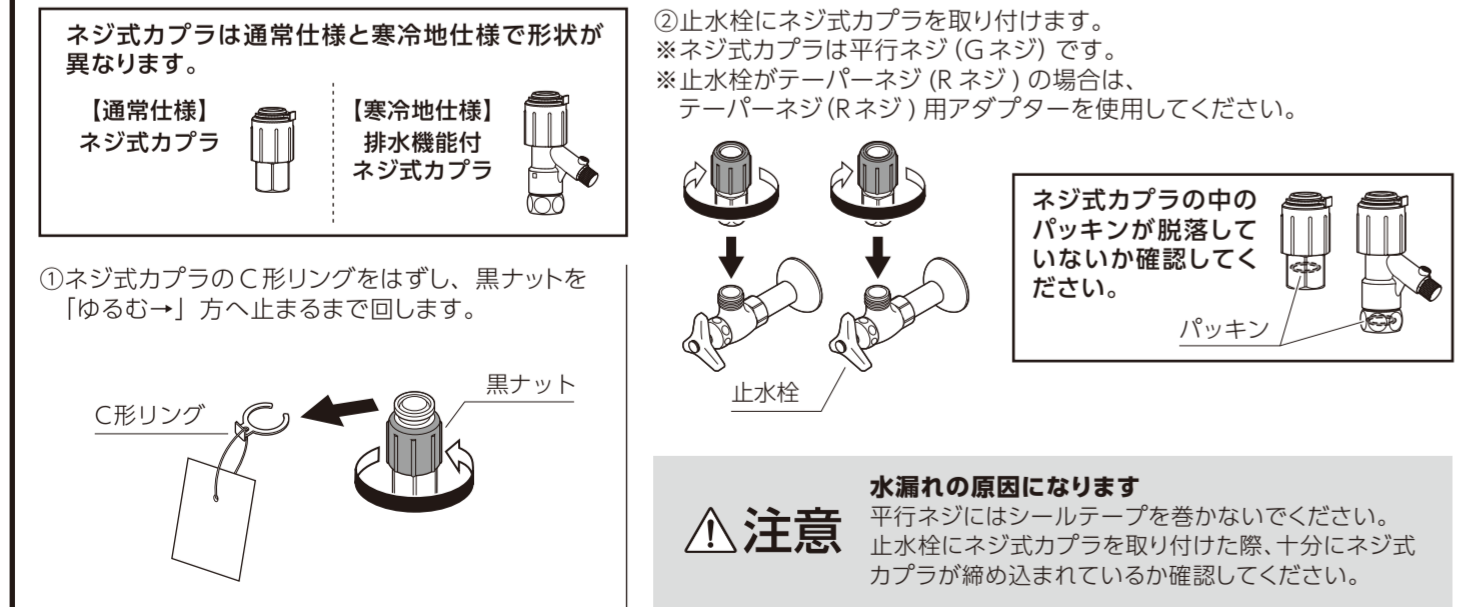


注意 水漏れで、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります
水栓固定ナットは混合栓用締付工具を使用して、しっかりと締め込んでください。

注意 破損の原因となります
水栓固定ナットを締め込んだ状態で向きの調整をしないでください。

注意 天板に水栓部を取り付ける際、不安定な場合は「あて木」などで補強を行ってください。

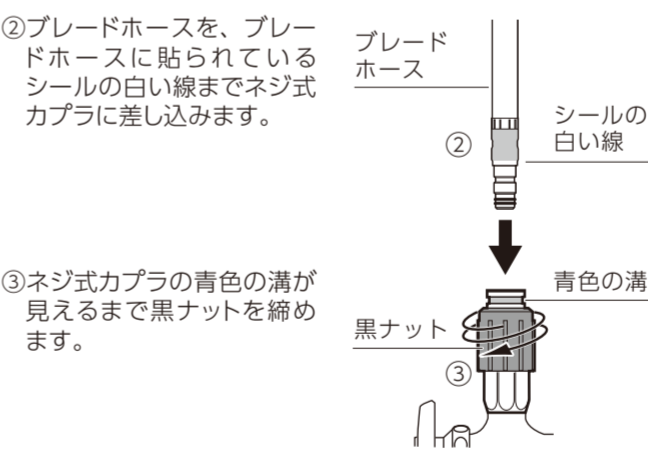
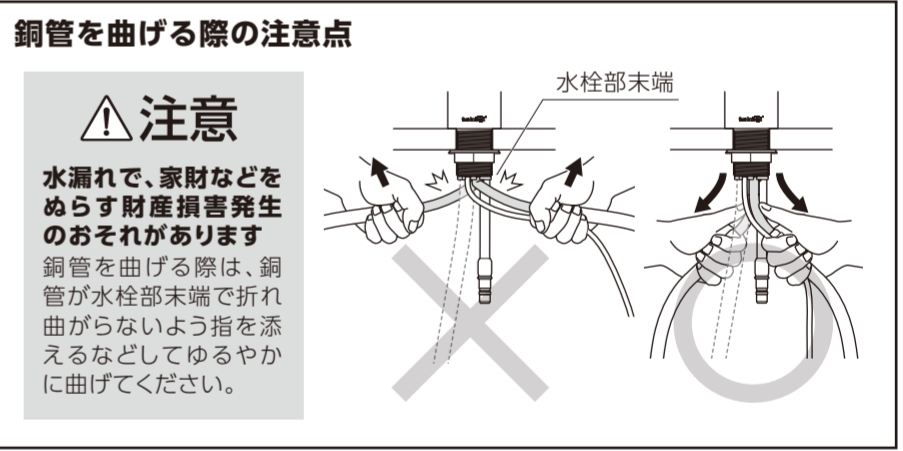
2. 止水栓にネジ式カブラを取り付ける



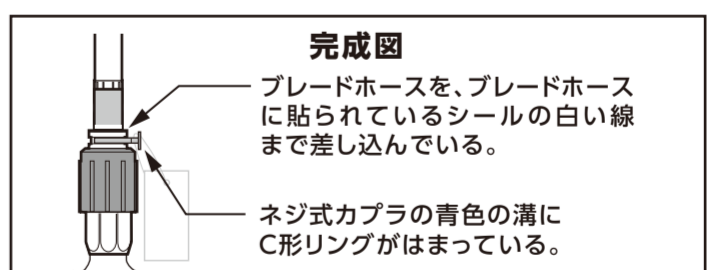
【寒冷地仕様】排水機能付きネジ式カブラ 取り付けの注意点
解放ネジは、凍結予防で水抜きをするときに操作しやすい方向に向けて止水栓に取り付けてください。
※解放ネジがフレキシブルホースや水受けボックスと干渉しないように注意してください。

3. 銅管を曲げてネジ式カブラとブレードホースを接合する

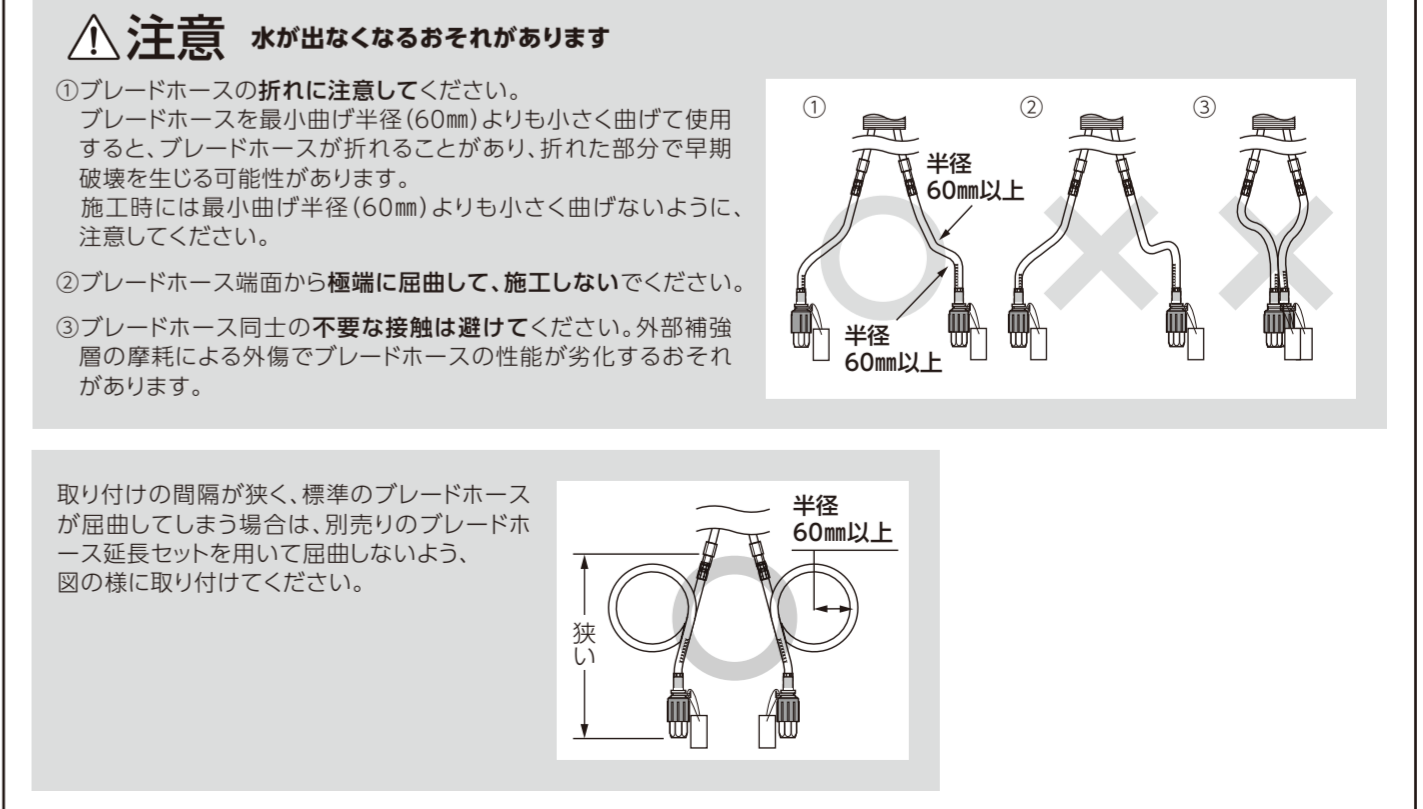
① 銅管 (湯側・水側) を水栓部末端から10～20mmの位置で曲げます。
※センサースイッチケーブルを誤って引っ張るなどして、断線させないように注意してください。



④ C形リングをネジ式カブラの青色の溝にはめ込みます。
C形リングタグは全施工完了後、取りはずしてください。



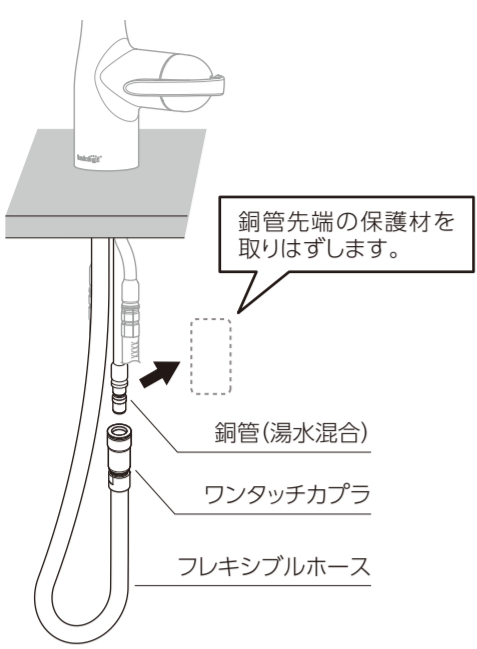
ブレードホース (湯側・水側) の施工上の注意点



4. 電磁弁ユニットを取り付ける前に給水管内のゴミなどを洗い流す

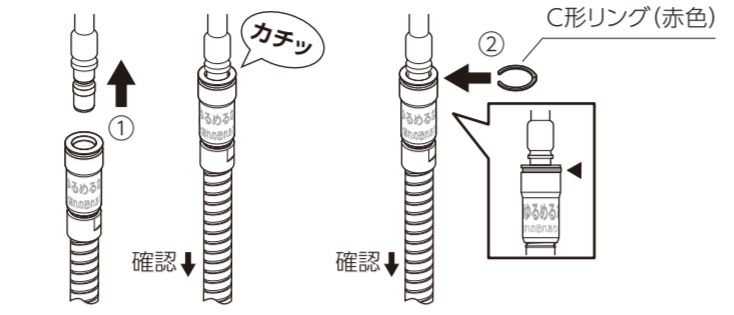
4-① フレキシブルホースのワンタッチカプラを銅管(湯水混合)へ接続する

フレキシブルホースをシンク下に引き出して、銅管(湯水混合)にワンタッチカプラを接続します。



ワンタッチカプラと銅管の接続方法

- ①銅管にワンタッチカプラをカチッと音がするまで確実に差し込んだあと、フレキシブルホースを引っ張ってはずれないことを確認します。
- ②C形リングをワンタッチカプラに取り付けます。C形リングの取り付けは、必ずワンタッチカプラと銅管を接続したあとに行ってください。先にC形リングを取り付けるとワンタッチカプラを銅管へ接続できません。C形リングを取り付けたあと、フレキシブルホースを引っ張ってはずれないことを再度確認します。



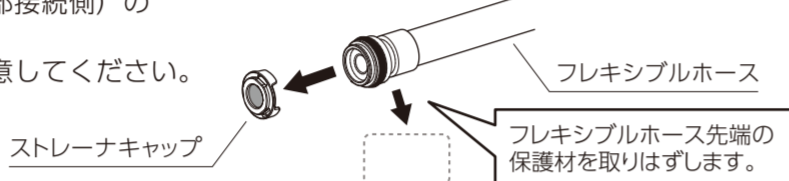
水漏れの原因になります

- 必ず上記の手順にしたがって、C形リングをワンタッチカプラに取り付けてください。
- 接続後は必ずフレキシブルホースを引っ張って、はずれないことを確認してください。

注意

4-② フレキシブルホース先端(浄水器部接続側)のストレーナキャップをはずす

フレキシブルホースを引き出し、先端(浄水器部接続側)のストレーナキャップを取りはずします。
※キャップからストレーナが脱落しないよう注意してください。

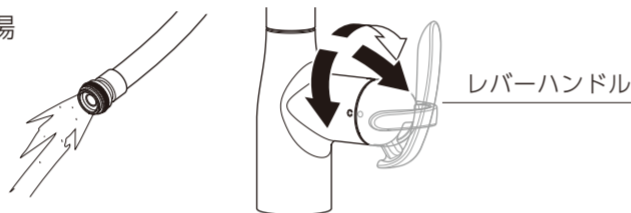


4-③ 止水栓を開ける

レバーハンドルが閉じていることを確認してから、配管部およびシンク下の止水栓(湯側・水側)を開けます。

4-④ レバーハンドルを吐水の状態にして、ゴミを洗い流す

レバーハンドルを吐水の状態にして前後に振り、給水・給湯管内のゴミなどを完全に洗い流してください。その後レバーハンドルを止水の状態にしてください。

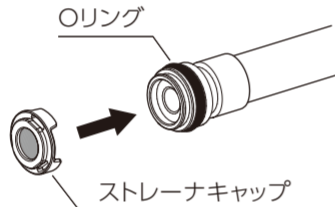


注意 吐水が飛び散らないよう注意してください。

4-⑤ フレキシブルホース先端にストレーナキャップを取り付ける

※Oリングにゴミが附着しないように注意してください。

注意 水漏れの原因になります
ストレーナキャップはフレキシブルホースに確実に取り付けてください。



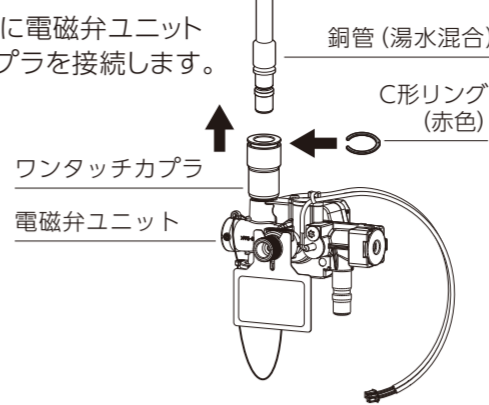
4-⑥ 止水栓を閉め、銅管(湯水混合)からワンタッチカプラをはずす

配管部およびシンク下の止水栓(湯側・水側)を閉め、取り付けた逆の手順で銅管(湯水混合)からワンタッチカプラをはずします。
※このとき銅管(湯水混合)およびフレキシブルホースから水が出てきます。ふきんや受け皿などで受けてください。

5. 電磁弁ユニットを取り付ける

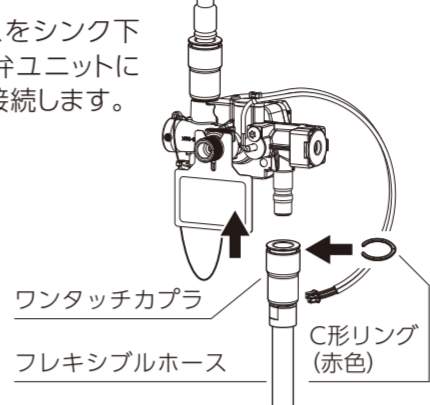
5-① 銅管(湯水混合)に電磁弁ユニットを取り付ける

銅管(湯水混合)に電磁弁ユニットのワンタッチカプラを接続します。



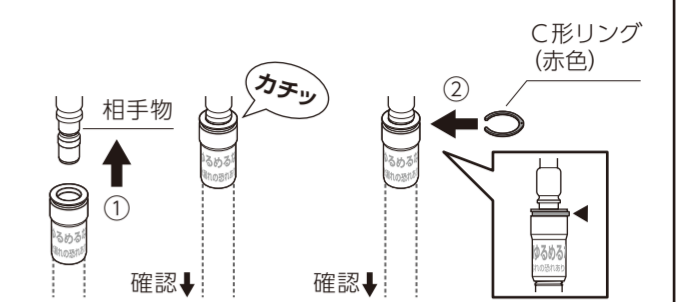
5-② 電磁弁ユニットにフレキシブルホースを取り付ける

フレキシブルホースをシンク下に引き出して、電磁弁ユニットにワンタッチカプラを接続します。



ワンタッチカプラの接続方法

- ①相手手にワンタッチカプラをカチッと音がするまで確実に差し込んだあと、引っ張ってはずれないことを確認します。
- ②C形リングをワンタッチカプラに取り付けます。C形リングの取り付けは、必ずワンタッチカプラと相手手を接続したあとに行ってください。先にC形リングを取り付けるとワンタッチカプラを相手手へ接続できません。C形リングを取り付けたあと、再度引っ張ってはずれないことを確認します。



水漏れの原因になります

- 必ず上記の手順にしたがって、C形リングをワンタッチカプラに取り付けてください。
- 接続後は必ずワンタッチカプラを引っ張って、はずれないことを確認してください。

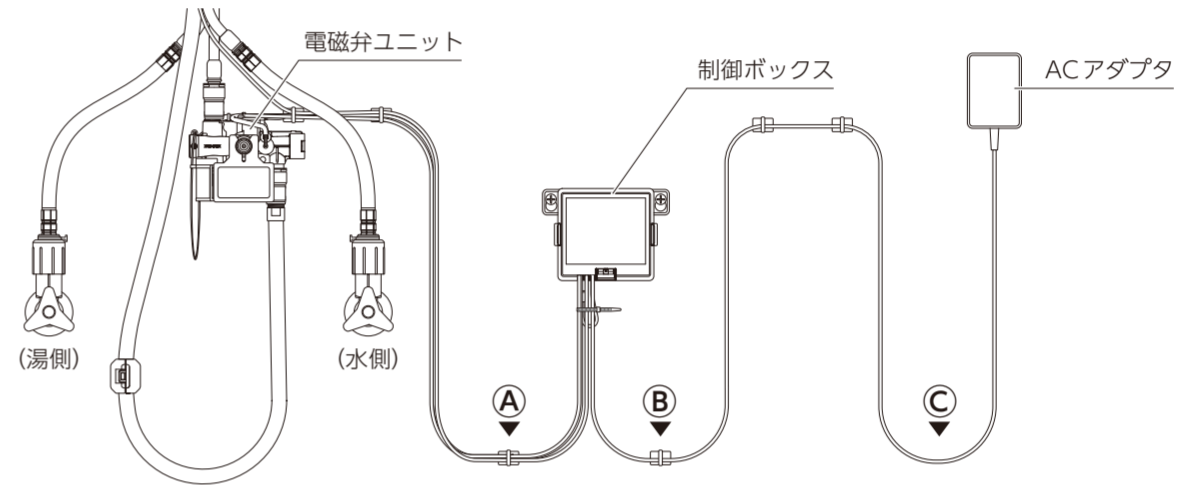
注意

6. 制御ボックスを接続・設置する

図1を参考に①～⑨の手順で制御ボックスを接続・設置します。

※制御ボックスを止水栓水側に設置できない場合は、止水栓湯側(正面向かって左側)に設置してください。

図1



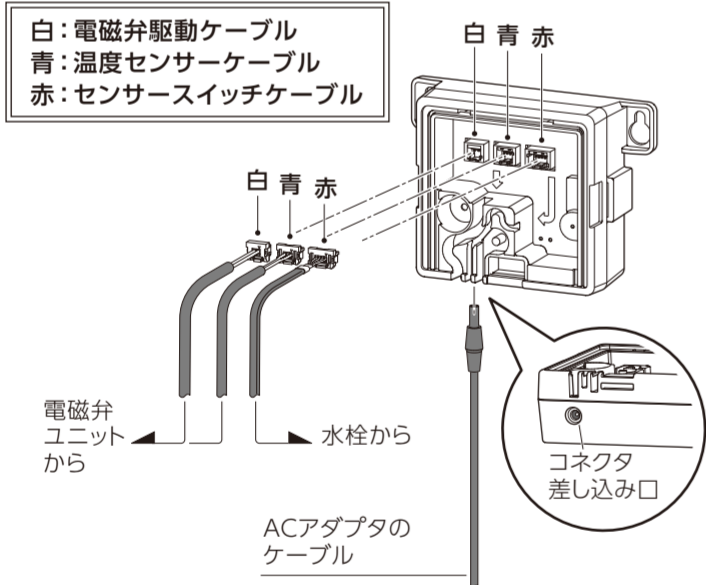
6-① 制御ボックスの取付位置を仮決める

制御ボックスの取付位置を図1を参考に仮決めし、フレキシブルホースや電磁弁ユニット、ブレードホースとケーブルが絡まないようにケーブルを取り回しておきます。

警告 発火や感電、ショート、故障の原因になります
ぬれた手で触れたり、水がかからないよう十分に注意してください。

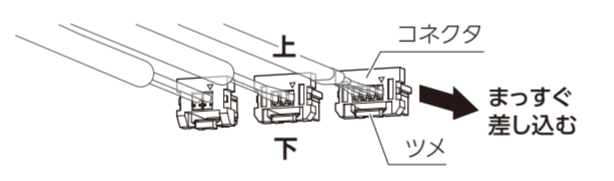
6-② 制御ボックスにケーブルを接続する

各ケーブルのコネクタを制御ボックスの所定のコネクタに差し込みます。



白・青・赤のコネクタの向きについて

※白・青・赤のコネクタはツメを下にして「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

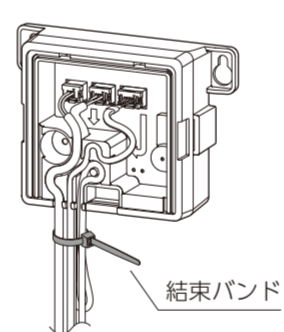


警告 発火や感電、ショート、故障の原因になります
ぬれた手で触れたり、水がかからないよう十分に注意してください。

注意 破損のおそれがあります
コネクタは向きを確認してまっすぐ差し込んでください。間違った向きで無理に差し込むと、コネクタが破損するおそれがあります。
作動不良の原因になります
ケーブルを差し込んだあと、軽く引っ張り抜けないことを確認してください。

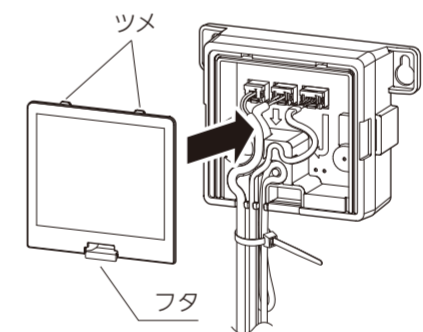
6-③ 4本のケーブルを結束バンドでまとめる

ケーブルをまとめることで、その後のケーブルの取り回しによりスムーズに行えます。
※ケーブルを締め付けすぎないように注意してください。



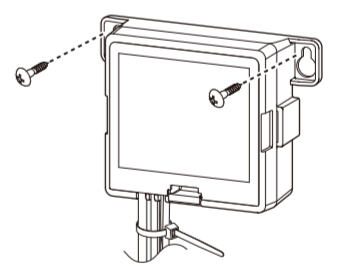
6-④ 制御ボックスのフタを取り付ける

ツメ2か所を制御ボックスに差し込み、フタを取り付けます。



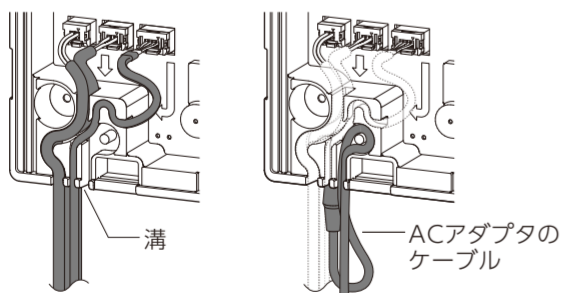
6-⑤ 背板もしくは側板に制御ボックスを固定する

付属のビスを使用して制御ボックスを固定します。
※背板・側板の板厚が薄くビスで固定できない場合は、付属の両面テープで固定してください。
両面テープで固定した場合、制御ボックスごと無理にはがすと、背板・側板の表面の加工がはがれる可能性があります。無理にはがさないでください。



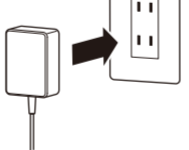
6-⑥ 制御ボックスの溝にケーブルを配線する

所定の溝にケーブルをはめ込み配線してください。
※ケーブルが溝に上手くはまらない場合は、ケーブルを傷つけないよう注意しながら先の細いもので奥まで押し込んでください。



6-⑦ ACアダプタをコンセントに接続する

※ACアダプタは根元まで十分に差し込んでください。



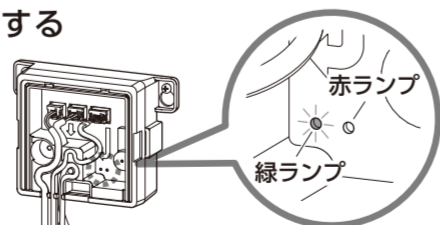
警告 発火や感電、ショート、故障の原因になります
各コネクタが制御ボックスに確実に差し込まれていることを確認してから、ACアダプタをコンセントに接続してください。

6-⑧ 制御ボックス内の表示ランプが正常に点灯しているか確認する

表示ランプの状態および確認内容は下表を参照してください。

警告 発火や感電、ショート、故障の原因になります
ACアダプタをコンセントに接続した状態で各コネクタを抜き差ししないでください。

緑ランプ: 点灯	電源は正常な状態です。
緑ランプ: 点滅	低電圧を検知しています。 ⇒ACアダプタがコンセントに確実に差し込まれていることを確認してください。改善しない場合は、ACアダプタの故障が考えられます。タカギ・コミュニケーションセンターまでお問い合わせください。
赤ランプ: 点灯	温度センサーを検知していません。 ⇒ACアダプタをコンセントから抜いた状態で、温度センサーケーブルが所定のコネクタに確実に差し込まれていることを確認し、再度ACアダプタをコンセントに接続してください。改善しない場合は、温度センサーの故障が考えられます。タカギ・コミュニケーションセンターまでお問い合わせください。
赤ランプ: 点滅	センサースイッチを検知していません。 ⇒ACアダプタをコンセントから抜いた状態で、センサースイッチケーブルが所定のコネクタに確実に差し込まれていることを確認し、再度ACアダプタをコンセントに接続してください。改善しない場合は、センサースイッチの故障が考えられます。タカギ・コミュニケーションセンターまでお問い合わせください。
点灯・点滅なし	ACアダプタもしくは制御ボックスを検知していません。 ⇒ACアダプタのケーブルが制御ボックスに確実に差し込まれていることおよび、ACアダプタがコンセントに確実に差し込まれていることを確認してください。改善しない場合は、ACアダプタもしくは制御ボックスの故障が考えられます。タカギ・コミュニケーションセンターまでお問い合わせください。



6-⑨ 背板もしくは側板にケーブルクランプを取り付け、ケーブルを固定する

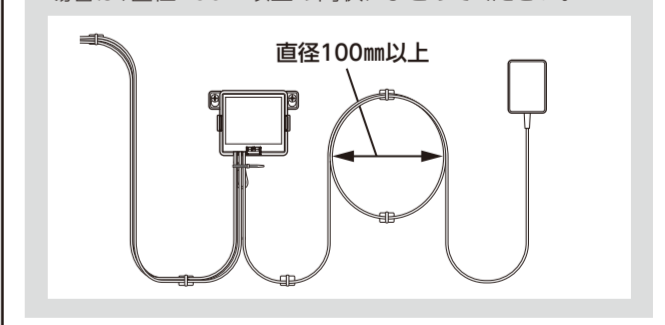
ポイント

- ケーブルを曲げて配線する部分に、ケーブルクランプで固定します(図1参照)。
- 図1(A)、(B)、(C)の箇所に水切り配線を施してください。水切り配線部のケーブルクランプは制御ボックス、電磁弁ユニット、ACアダプタより下方に設置してください。
※漏水や結露により水滴がケーブルをつたい、各コネクタに到達するのを防止するためです。

警告 発火や感電、ショートの原因になります
●ケーブルは床に付かないように固定してください。
●ケーブルとフレキシブルホース、電磁弁ユニット、ブレードホースが接触したり絡んだりしないように配線してください。

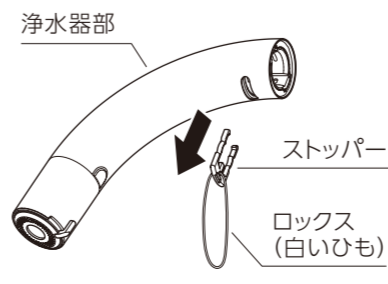
ケーブルが余る場合の注意点

警告 発火や感電、ショートの原因になります
ケーブルは束ねて配線しないでください。ケーブルが余る場合は、直径100mm以上の円状にまとめてください。



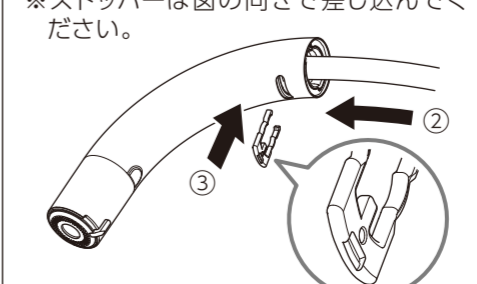
7. 浄水器部を取り付ける

①浄水器部根元にあるロックス(白いひも)を引っ張り、ストッパーを引き抜きます。その後、ストッパーからロックス(白いひも)をハサミなどで切って取りはずしておきます。
※ストッパーを引き抜く際に、ロックス(白いひも)がはずれたときは、マイナスドライバーなどをストッパーに引っ掛けて引き抜いてください。

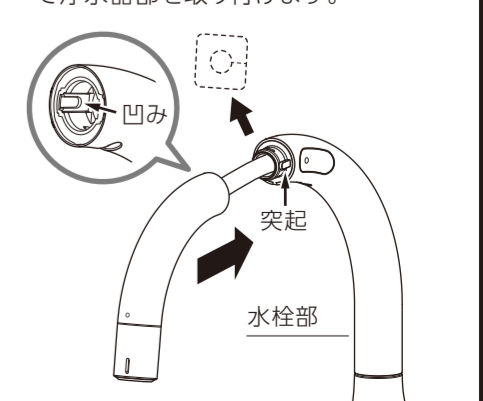


注意 破損のおそれがあります
浄水器部のグリップ部は薄い構造です。落下すると変形し、水栓部に取り付けできないおそれがあります。取り扱いには十分に注意してください。

- ②フレキシブルホース先端を浄水器部に差し込みます。
- ③浄水器部根元にストッパーを差し込みます。その後、フレキシブルホースを引っ張って浄水器部から抜けないことを確認します。
※ストッパーは図の向きで差し込んでください。



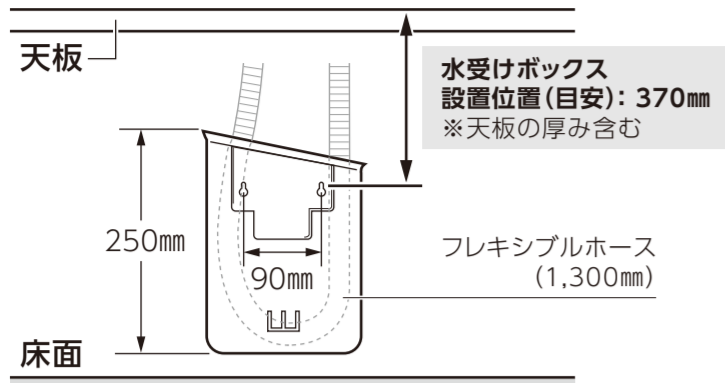
④切込みタグを取りはずし、浄水器部の凹みと水栓部の突起の位置を合わせて浄水器部を取り付けます。



8. 水受けボックスを設置する ※タンクレス仕様には付属しません。



- 注意**
- 水漏れ事故防止のため、当社製水栓金具以外のものに取り付けしないでください。
 - 正しく設置されていない場合、漏水およびフレキシブルホースの操作性が悪くなる原因となります。
 - 水栓部から水が多量に入った場合は、水受けボックスを取りはずし、滞留水を捨ててください。
 - フレキシブルホースが最も引き出された状態で、フレキシブルホースの最下端が水受けボックスから外に出ないようにホースストッパーの位置を調節してください。
 - 変形するおそれがあります。40℃以上にならない場所に設置してください。

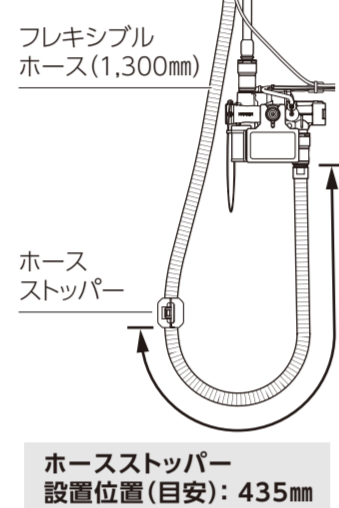
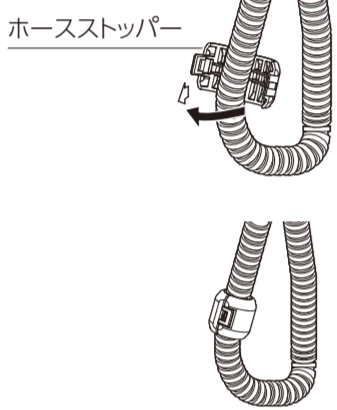


- ① フレキシブルホースが水受けボックスの中に収まるように水受けボックスの高さを調節します。
- ② 調節した位置でフレキシブルホースを抜き、ビス取り付け位置を図のようにペンなどでマーキングします。
- ③ マーキングした位置にドライバーでビスを取り付けます。ビスは水受けボックスの厚み分残して締め込んでください。
- ④ 水受けボックスの穴をビスに通します。

- ⑤ 水受けボックスを下に引いて固定します。
- フレキシブルホースの収納と水受けボックスの取りはずし方**
- 【収納】**
フレキシブルホースを収納します。
- 【取りはずし】**
左図のようにして水受けボックスを持ち上げ(①)手前に引いて、(②)取りはずします。

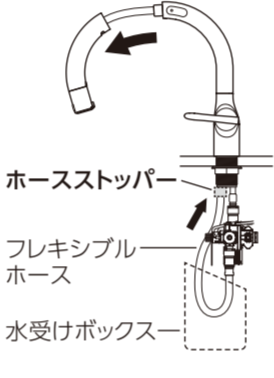
9. ホースストッパーを取り付ける

フレキシブルホースを挟み込みます。



ホースストッパー取り付け上の注意点

浄水器部の引き出しすぎにより、フレキシブルホースが元の位置に戻らないおそれがあります。フレキシブルホースが元の位置に戻るよう、引き出し長さをホースストッパーで調節してください。なお、水受けボックスを使用する場合は、フレキシブルホースが最も引き出された状態で、フレキシブルホースの最下端が水受けボックスから外に出ないようにホースストッパーの位置を調節してください。



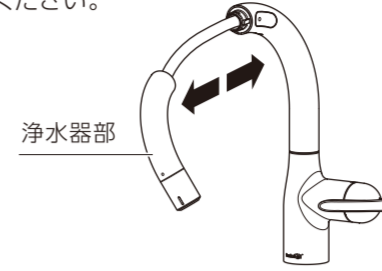
10. 水道配管の止水栓を開ける

レバーハンドルが閉じていることを確認してから、配管部およびシンク下の止水栓（湯側・水側）を開けます。

3. 取り付けが終わったら

①引き出し・収納がスムーズに行えるか確認する

浄水器部の引き出し、収納を数回行い、正常に戻ることを確認してください。スムーズに出し入れできないときは、フレキシブルホースが給水・給湯の銅管部や、水受けボックスに干渉している場合があります。位置を調整してフレキシブルホースの通る空間を確保してください。



②センサースイッチの動作を確認する

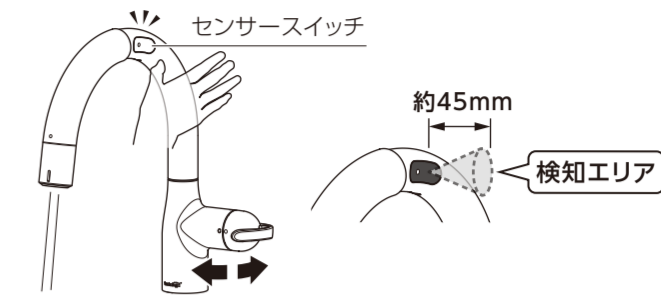
ACアダプタがコンセントに正しく差し込まれていることを確認し、吐水・止水の動作を確認してください。（センサースイッチの保護フィルムは、はがさないでください）

吐水

レバーハンドルを吐水の状態にします。センサースイッチに手をかざすと吐水します。

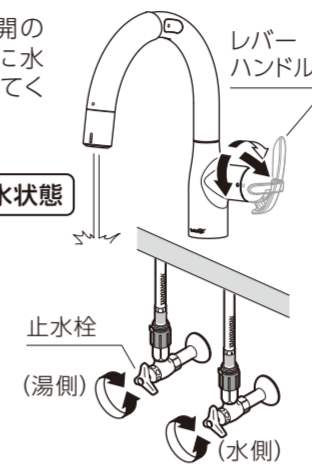
止水

再びセンサースイッチに手をかざすと止水します。使用後は、レバーハンドルを閉じます。



③止水栓で吐水量を調節する

使用時、水側全開および湯側全開のときの吐水量が最適となるように水側・湯側の2つの止水栓を調節してください。

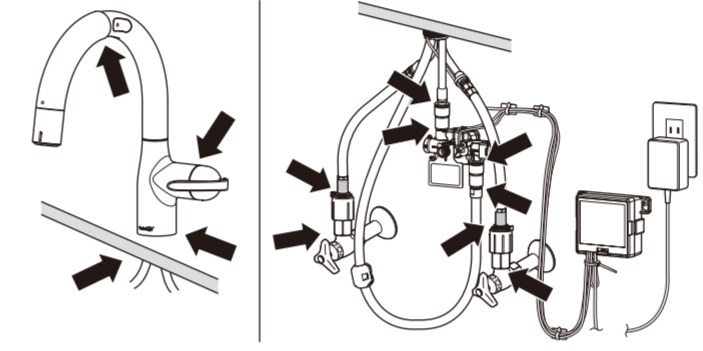


ポイント

- ・下記の場合、自動で止水します。
 - ◆10秒以上手や物がセンサースイッチの検知エリア内にあるとき（誤検知防止）
 - ◆5分間連続で吐水しているとき（止め忘れ防止）
- ・センサースイッチに手をかざしたにもかかわらず水が出ない場合は、レバーハンドルが閉じていないか確認してください。
- ・吐水量・温度はレバーハンドルで調節します。
- ・黒っぽい色や透明の物に反応しない場合があります。
- ・非通電もしくは故障を検知したときはランプが消灯します。

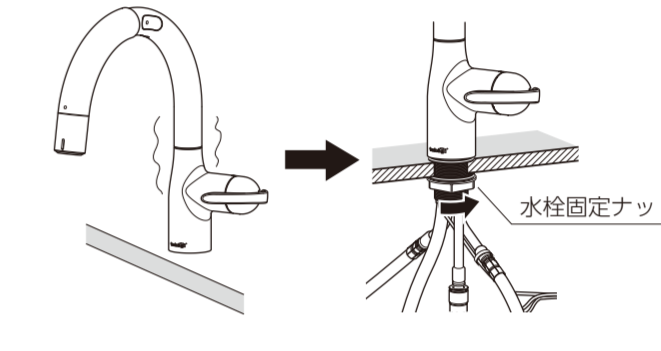
④各接続部の水漏れがないかチェックする

レバーハンドルを閉じて水栓および各接続部から水漏れがないことを確認してください。（給水側、給湯側に水圧がかかった状態で確認してください）



⑤水栓部がガタついていないかチェックする

水栓部にガタつきがある場合は、水栓固定ナットを回し、締め込んでください。



施工完了後のお願い



注意 水漏れで家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります
水栓設置後のチェックが完了したあとは、必ずレバーハンドルを閉じてください。

- お客様がすぐ使用しない場合は、必ずコンセントからACアダプタを抜いてください。
- 取扱説明書・施工説明書・吊り下げ袋はお客様の目につくよう、水栓の近くに置いてください。
- 品質表示/節湯タグは水栓に取り付けておいてください。

免責事項

以下の事項にて発生した損失や損害に対して株式会社タカギは一切責任を負うものではないことをあらかじめご了承ください。ご使用はお客様の責任で行っていただきますようお願いいたします。

1. 施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合。
2. 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）など製品以外の不具合に起因する製品の不具合。
3. 電気・給水などの供給で指定された以外の環境に起因する故障および損傷。
4. 自然現象や住環境に起因する結露、染み出し・かびなどの現象。
5. 水道に関する国の基準（水道法）に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことに起因する不具合。

■アフターサービスについて

破損した部分の交換や設置、使用上のご不明な点など、本商品に関する事柄は、当社までお問い合わせください。

■商品に関するお問い合わせは

タカギ・コミュニケーションセンター ミズはよい水 受付時間 8:30～18:00（年中無休）

通話料 無 0120-328-413

*受付時間外でも、修理など緊急の際は音声ガイダンスより専用番号をご案内いたします。

株式会社 タカギ

<https://www.takagi.co.jp/>